

〈第7部番外編：付録〉

番外編4. 「選ばなかった道」

〈日本語訳〉

選ばなかった道

黄色い森の中で道が二つに分かれていた
残念だが両方の道に行くことはできなかった
一人きりの旅人であったから 長い間立ち止まっていた
私は一方の道を目の届く限り遠くを見渡した
下生えの中 曲がっている道を

それからもう一方の道を選んだ 同じくらい美しかった道を
たぶんこちらがより良い選択だと思えた
なぜならそちらの道は草に覆われまだ人に踏まれていない道だったからだ
もちろんそれに関しては、実際は誰かがそこを通過していて
本当は同じように踏まれつくされてしまっていたのだけれど

そしてあの朝、二つの道が同じように横たわっていた
黒く踏みつぶされた足跡がまだ一つもない、落ち葉に埋もれた道が
ああ、私は未来のために最初の道を取っておいた！
しかし、一方の道がいかにもまた別の道につながっているかを知りつつも
私は最初の道に戻れるかどうか疑っていた

私は溜め息と共にこれだけは言うであろう
これから何年も何年も経ったどこかで：
森の中で道が二つに分かれ、私は一
私は人が歩いていない道を選んできたのだ
そしてそのことが私の人生を変えたのだと

(野村忠央訳)